

事業実績書

1 事業名 竹林のスコレー、倉敷穂井田竹灯籠祭りプロジェクト

2 実施期間 令和5年4月18日～令和6年2月28日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

放置竹林の整備、竹資材の農業への活用と竹を用いた伝統行事の創生による地域の魅力向上

② 事業の流れ等

・倉敷市玉島陶の穂井田地区では、過疎化と高齢化が進み田畑の管理者が不足している。その結果、竹が増えて放置竹林となり、竹が倒れ通路の邪魔になったり土砂崩れの危険もある。また、地域の景観を悪化させている。放置竹林や竹害を解消するために、竹を資材として用いた伝統行事を企画した。竹灯籠を用いた祭りを行うことで、恒常的に竹の間伐を意欲的に行えるように意図した。また、使い終わった灯籠は、竹炭にして土壌改良用に農業資材として畑に撒いて土に戻し、自然の循環を尊重する行事として設計した。

・竹灯籠まつりイベント時期は、日の入りが早くなり稲刈りが終わる11月11日（土）、12日（日）とし、それまでにサブイベントとして竹灯籠づくりワークショップを開催し、興味のある人を募っていった。その効果もあり、当日に竹灯籠を展示していただける協力者の方とも繋がりができ、4名の竹灯籠作家の方が作品展示を行なっていただいた。

・竹灯籠まつりの協力団体として、玉島陶・服部まちづくり協議会、穂井田消防団が竹灯籠展示の準備、来場者の警備・誘導に当たっていただくことができた。また、展示する竹灯籠の一部を玉島高校美術部の生徒の方に手がけていただくことができた。まちづくり協議会の代表者、当法人、備中県民局担当者などで全体運営ミーティングを定期的に行い、進捗状況や当日の運営方法について意見交換を行い、実施にあたった。

・竹灯籠まつり実施日程は、令和5年11月11日（土）、12日（日）、16時30分開場、点灯時刻は17時から20時。イベント会場となる古民家に芸術的な竹灯籠の展示を行い、周辺の農道に街路を照らすシンプルな竹灯籠を2,000本配置、見栄えの良いスポットにも創作されたものを配置した。雨天は竹灯籠の規模を縮小して開催予定とした。12日午前小雨がパラついたものの行事に大きな影響はなく行えた。

・都市と田舎の地域間交流、穂井田地区の関係人口を増やすため、実施対象地域外からの来場者の参加を促す目的で、HPやSNSなどを使ってイベントの周知に努めた。

③ 成果・効果

全体：竹の間伐面積に関して、面積あたりの竹の本数が予想以上に多く、思ったよりも狭い範囲にとどまったが、地域の方から間伐希望があり、喜ばれた。今年初のイベントであったが、県民局と協力しての広報宣伝活動が功を奏し、目標を超える来場者数を得ることができた。2日目がボランティアの参加が少なく運営の負担が増えた、来年度の改善点として挙げられる。詳細は下で述べる。

成果目標1 地域の竹害を予防し、地域の景観の美化を図る。
 間伐した竹林の面積、竹の本数、景観の作業前後の写真を撮影。玉島陶、服部地域の荒れている竹林を減らし、農業や交通の妨げにならないように管理するとともに、地域の景観を改善する。

評価指標・測定方法	数値目標	
	今年度	(参考)6年度
当初の目標値 整備された竹林の面積	1ha	2ha
実際に整備できた竹林の面積	0.3ha(3000m ²)	0.5ha(5,000m ²)

振り返り：放置竹林の竹の本数が予想以上に多く、面積あたりに伐採する竹の量が多かったため、想定した面積よりもかなり少ない結果であった。しかし、間伐した場所は、景観がよくなり日当たりが改善したことで、田んぼの日照も回復、米の収量も良かった。来年度は、整備された竹林の面積を広げて観光資源となるように進めていく。

成果目標2 地域活性化、都市農村交流の促進。

竹燈籠祭りの来場者数を測定する。新たな祭りを企画、実施することで地域の連帯を図り地域内の人的交流の活性化、都市農村交流を促進する。また、毎年の行事として定着するように来年度の開催に向けても、企画、広報を行っていく。

評価指標・測定方法	数値目標	
	今年度	(参考)6年度
当初の目標値 来場者数	述べ1,000人→600人に下方修正	述べ2,000人
実際の来場者数	述べ1,010人	単日で1,000人

振り返り：チラシ、インターネット（HP、SNS）、新聞広告など、多様な媒体を用いた周知のおかげで、予想以上の来場者を得ることができた。アンケート結果から見ると、地域在住の参加者は全体の5%であった。倉敷市内が80%（穂井田地区含む）、市外が15%（岡山市、瀬戸内市、浅口市、玉野市など）、県外が5%（東京、広島、兵庫）であり、目標である地域間交流の促進、関係人口の増加に寄与することができたと考えられる。また、玉島陶・服部まちづくり協議会、穂井田消防団の皆様にご展示の準備や、来場者の警備、誘導をお願いすることができた。地域に住む方々に実際に手伝っていただけて、近隣の方々からもまた来年もやってほしいという声を多数いただくことができた。

成果目標3 伝統行事として継続する。

年度ごとにより多くの協力者を巻き込み竹燈籠の制作本数を増やしていく。

評価指標・測定方法	数値目標	
	今年度	(参考)6年度
当初の目標値 祭りの竹燈籠の本数	2,000本	4,000本
実際に展示した竹燈籠の本数	2,300本	3,000本

振り返り：今年が初年度となり、協力者を模索する段階から始まったが、竹燈籠づくりワークショップや地域の方とのつながりから、灯籠制作を手伝っていただける方と繋がることができた。また、小中学校、高校、大学など教育機関と連携を計画し、玉島高校の美術部の生徒の方々に展示用の竹燈籠を制作していただくことができた。来年度は、本年度の実績を紹介しながら早めに協力、連携できる機関を探していきたい。竹燈籠の制作は、竹の伐採から運搬にもかなりの労力が必要なことが分かり、来年度の目標も4,000本から3,000本に下方修正する。

サブイベント振り返り：11月の竹燈籠まつりに向けて竹燈籠に興味のある人、家族で

工作などをしてみたい人を集め、竹灯籠の制作に慣れるため、竹灯籠づくりワークショップを開催した。また、竹灯籠まつりで使用した竹灯籠を炭にして土壌改良用の農業資材として畑に撒くために竹炭の作り方を学ぶワークショップを開催した。各回の参加者数を下の表にまとめる。

竹灯籠づくりワークショップ、竹炭づくりワークショップ集計表

回数	開催内容	日にち	参加者				ボランティア・スタッフ	
			子ども	大人	付き添い大人	お客さん合計	ボランティア	スタッフ・講師
1	竹灯籠づくりWS 1回目	6/11	11	2	9	22	10	6
2	竹灯籠づくりWS 2回目	7/16	11	3	4	18	7	6
3	竹灯籠づくりWS 3回目	8/11	14	2	4	20	10	6
4	竹灯籠づくりWS 4回目	9/17	8	1	2	11	5	5
5	竹灯籠づくりWS (玉島朝市)	10/8	14	4	14	18	0	2
6	竹灯籠づくりWS 5回目	10/15	12	5	2	19	3	6
7	竹灯籠づくりWS (うえまつ)	10/27	7	0	0	7	0	2
8	竹炭づくりWS	1/25	12	3	1	4	1	4

竹灯籠づくりワークショップは総じて好評で、子どもたちが講師の指導と見守りボランティアや家族の付き添いの下、工具を用いて充実した表情で制作に取り組んでいた。大人も初めて作る人が多く、楽しめていた。また、運営スタッフもワークショップの回数を重ねることで、竹灯籠の制作のコツが掴めていった。竹炭づくりワークショップで作った竹炭は、当法人で使用している畑およそ 40m² に撒いた。順次、竹炭を作りながら畑に撒いていく予定である。

放置竹林の間伐、竹の芸術的資材への転向、それを用いた行事の開催、使用後に大地に戻す、一連の流れを行うことができ、事業全体のサイクルを全うできた。

④ 今後の課題・展開等

- ・今回のイベントでは、11月11日(土)、12日(日)と土日両日を使って行なったが、2日目の日曜日にボランティアの参加が少なく、運営上手が回らないことがあった。また、片付けも夜遅くになり、運営スタッフの疲労も激しかったため、来年度は土曜日単日での開催を予定している。開催日が減ることで来場者も減ることが見込まれるが、開催時間を夕方からではなく、午前からにして開催時間を増やして出店ブースを拡げ、催し物を実施することで、来場者数を同数の1,000名を見込んでいきたい。

- ・竹灯籠の展示においては、趣味で制作されている市井の作家にもご参加いただき、自身の作品を展示する機会を探している方もいらっしゃった。そのため、来年度は、竹灯籠や竹の民芸や家具などの作品展示のブースも一般募集をすることも検討したい。

- ・竹灯籠の制作、展示の準備、来場者の警備や誘導、片付けなど多数の人員が必要になるイベントであり積極的なボランティアの参加人数が必要であり、また一体感を持って行えるような仕組みが大切になると考える。今回は、開催1週間前にボランティア顔合わせ会を行なったが、当日のイベントに向けて2,3ヶ月前からボランティアスタッフチームの顔合わせやキックオフミーティングなどを行い、団結力を

高めていけるようにしたい。

⑤ 県民局と協働した効果及び課題

・ 県民局と協働して行なったことで、倉敷市の後援をスムーズに取れたことが非常に大きかった。市の協力もあり、増原公園を駐車場として使用させていただけた。

また、チラシを施設に掲示や配置する際にもスムーズに行うことができた。山陽新聞の広告、ラジオの告知も行え来場者で賑わう行事にすることができた。また、運営ミーティングではスケジューリングなど、的確なアドバイスをいただけて、準備を行うことができた。

4 参考事項・資料

写真（データでも提出すること）

当日資料

アンケート結果 他

写真 令和5年11月11日(土)、12日(日) 倉敷穂井田竹灯籠まつり 開催の様子
NPO 法人こうのさと
片岡徹也



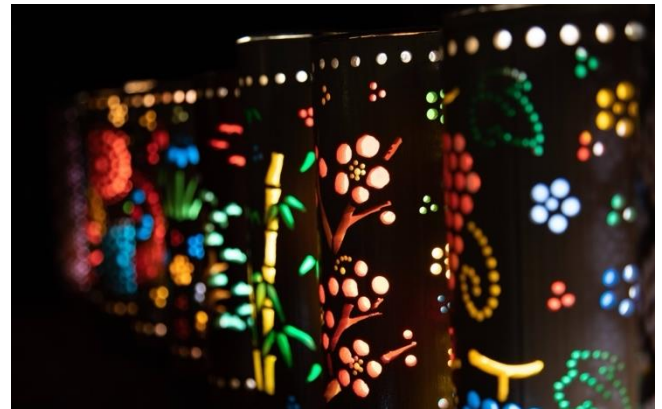


写真 令和5年 竹林のスコレー、倉敷穂井田竹灯籠祭りプロジェクト

NPO 法人こうのさと

片岡徹也



竹の間伐



竹灯籠の設置



竹灯籠づくりワークショップ



竹灯籠づくりワークショップ



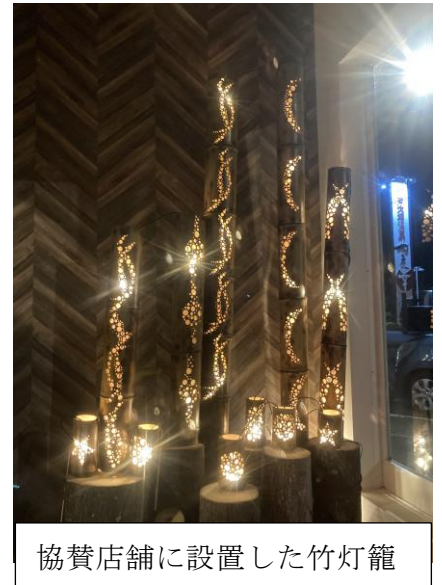
門松づくり



フォトコンテスト審査



切り出した竹でブランコ



協賛店舗に設置した竹灯籠



使い終わった竹灯籠



竹炭づくりワークショップ



つくった竹炭



竹炭を畑に撒く



竹炭を撒く畑



由加山での展示の様子



竹灯籠まつり当日スタッフ集合写真



制作した竹灯籠



祭り後の公園の整地

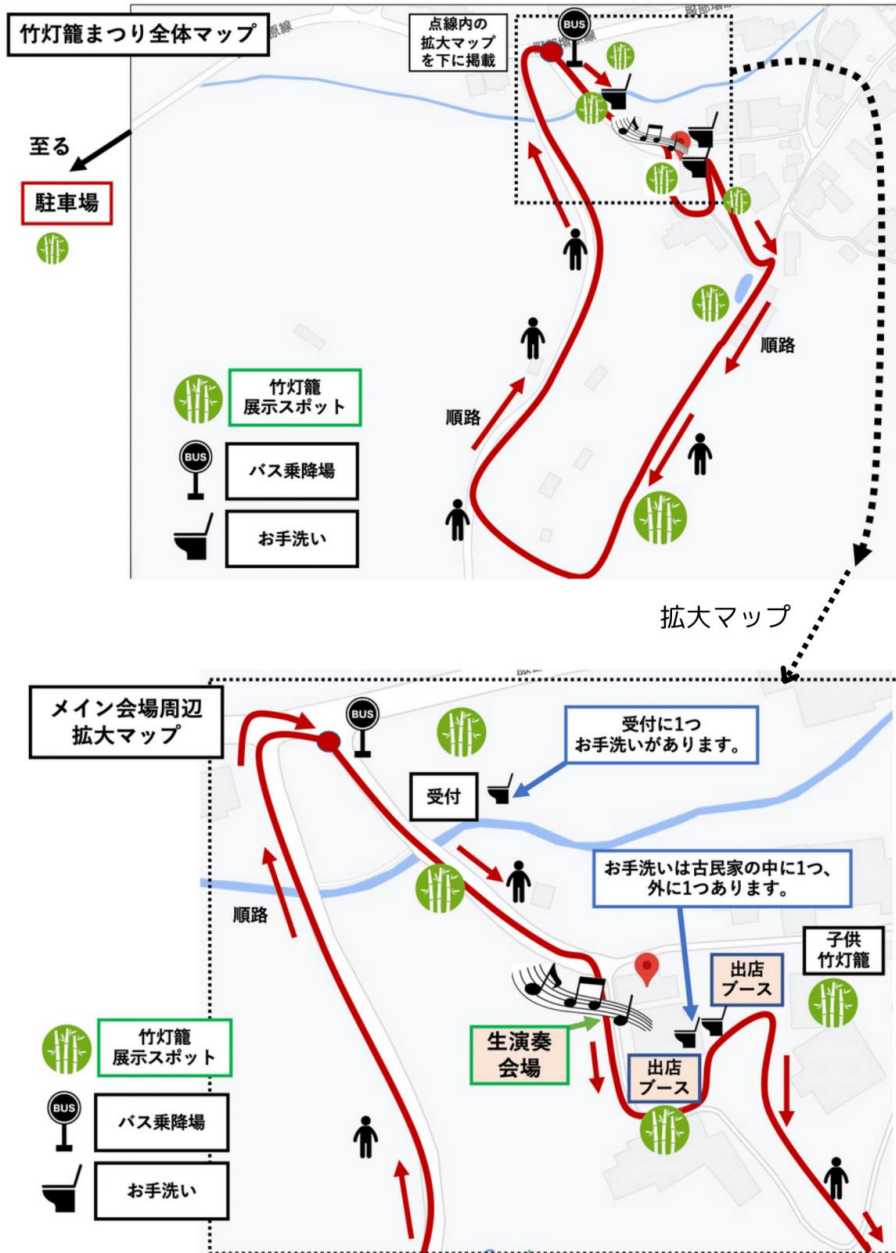


竹灯籠を制作する NPO 法人彩スタッフ

当日資料

1. 会場案内とご来場の方へのメッセージ

倉敷穂井田竹灯籠まつり in 竹林のスコレーによるこそ
会場案内図



裏面に主催団体からのメッセージがあります →

竹灯籠まつり in 竹林のスコレーにご来場ありがとうございます

竹林のスコレーは、NPO 法人こうのさとが運営するオルタナティブスクールです。竹林に囲まれた広い敷地に田畑があり、伸び伸びとした環境で子どもたちが自然の中で遊び学び、生きる力を育む場所として令和5年4月に開校しました。

昨年までのコロナ禍で、行事の中止、黙食、ソーシャルディスタンスなど、暮らしが大きく変わり、その影響を最も強く受けたのは子どもたちでした。大人は会食できても子どもたちは黙食を強いられ、東京マラソンは開催されても学校の運動会は中止になる。

その基準が正しくて効果的だったのでしょうか？曖昧な基準は、何よりも経済を重要視しているように思えてなりません。大人は仕事をしているから良いが、子どもはそうではないから中止する。暗にそう言われているような気がしませんでしたか？

しかしながら、大人の時間と子どもの時間は違います。成長・発達の真最中にある子どもたちの一年は、我々大人の一年と比べてその重みは異なるでしょう。子どもたちの活動や存在を軽んじているような今の社会に対して、子どもたちは声にならない叫びをあげています。

全国の不登校の児童生徒の数は、29万9千人と過去最大（前年度から5万人増）になり大きな社会問題になっています。しかし、これは子どもたちの問題というよりも、我々大人の問題です。日本社会全体として、子どもたちが楽しみながら学べる受け皿、安心して通える場を用意できてないということでしょう。

竹林のスコレーは、不登校の子どもの受け皿ではなく、子どもたちが望む教育の形を目指して運営しています。また、公立の学校とは違い児童を通わせている各ご家庭に利用料を負担していただいております。充実した運営のために、多くの皆様方からのご支援を必要としております。この会場でも、本部テントでスコレー募金を募っておりますので、ご支援、ご協力お願いいたします。

そして、NPO 法人こうのさと、として「地域に生まれる子どもたち一人ひとりが皆から祝福されて迎えられるまちをつくること」を理念に掲げて活動しております。妊産婦さんに自然に則ったお野菜を定期的にプレゼントすることで、生まれる前からお腹の中の赤ちゃんとの関係性を育み、人の命の源となる自然な食べ物をつくれる環境を取り戻していています。

右下の QR コードを読み込むと、活動の背景や理由などもご覧いただけます。寄付やボランティアのご協力も募っております。ご支援お願いいたします。



当日資料3. 来場者アンケート

倉敷穂井田竹灯籠まつり来場者アンケート

あてはまるものに および記入してください。

●お住まいの地域 穂井田にお住まいの方はこちら → 穂井田

倉敷市 (倉敷、 玉島、 真備、 船穂、 水島、 茶屋町、 庄、 児島)

他の市町村 (岡山市、 総社市、 玉野市、 津山市、 井原市、 笠岡市)

その他 () 市町村名 県外 () 都道府県名

●性別

男性 女性

●年代

20歳未満、 20代、 30代、 40代、 50代、 60代、 70代以上

●倉敷穂井田竹灯籠まつりを何で知りましたか？

あてはまるものすべてに をしてください。

テレビ、 新聞、 ラジオ、 公式サイト及びInstagram、

facebook、 施設等のポスター、 チラシ、 友人・知人などの口コミ、

その他 ()

●また倉敷穂井田竹灯籠まつりに参加したいですか？ 1-5で教えてください。

(参加したくない ← 1、 2、 3、 4、 5 → ぜひ参加したい)

●その理由を教えてください

●本行事に対して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

書ききれない場合は裏面をご利用ください。ご協力ありがとうございました

倉敷穂井田竹灯籠まつり来場者アンケート

あてはまるものに および記入してください。

●お住まいの地域 穂井田にお住まいの方はこちら → 穂井田

倉敷市 (倉敷、 玉島、 真備、 船穂、 水島、 茶屋町、 庄、 児島)

他の市町村 (岡山市、 総社市、 玉野市、 津山市、 井原市、 笠岡市)

その他 () 市町村名 県外 () 都道府県名

●性別

男性 女性

●年代

20歳未満、 20代、 30代、 40代、 50代、 60代、 70代以上

●倉敷穂井田竹灯籠まつりを何で知りましたか？

あてはまるものすべてに をしてください。

テレビ、 新聞、 ラジオ、 公式サイト及びInstagram、

facebook、 施設等のポスター、 チラシ、 友人・知人などの口コミ、

その他 ()

●また倉敷穂井田竹灯籠まつりに参加したいですか？ 1-5で教えてください。

(参加したくない ← 1、 2、 3、 4、 5 → ぜひ参加したい)

●その理由を教えてください

●本行事に対して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

書ききれない場合は裏面をご利用ください。ご協力ありがとうございました

アンケート集計結果 1

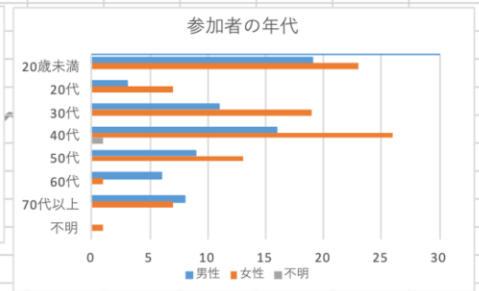
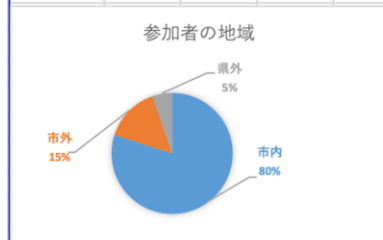
令和5年度 倉敷種井田竹灯籠まつり 来場者アンケート結果

1 居住地

居住地	穂井田	倉敷	玉島	真備	船穂	水島	茶屋町	庄	児島	小計
市内	9	60	43	11	1	4	8	0	0	136
市外	2	1	2	2	10	2	4	1	1	25
県外	4	4	1							9
合計										170

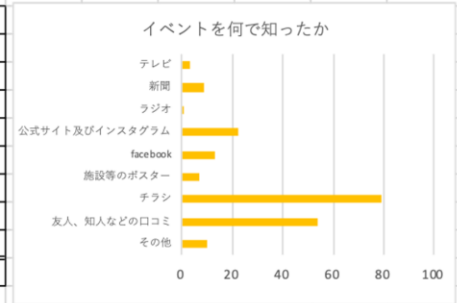
2 性別・年齢

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男性	19	3	11	16	9	6	8	0	72
女性	23	7	19	26	13	1	7	1	97
不明	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	42	10	30	43	22	7	15	1	170



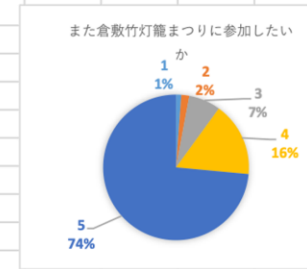
3 竹灯籠まつりを何で知ったか (複数回答)

テレビ	3
新聞	9
ラジオ	1
公式サイト及びインスタグラム	22
facebook	13
施設等のポスター	7
チラシ	79
友人、知人などの口コミ	54
その他	10
合計	198



4 また倉敷竹灯籠まつりに参加したいか

1 参加したくない	2
2	3
3	12
4	28
5 参加したい	125
合計	170



5 4の理由 (主なもの)

- ・とてもキレイだった。音楽もイイ感じ
- ・手作り感があって良い
- ・竹灯籠がめずらしく美しかった。竹の製品や食品なども満足できた
- ・活動そのもののスタンスに共鳴できた。
- ・無料だし、きれいだから。作る作業が楽しかったから。
- ・地域活性化にも繋がるし、こんなに老若男女の集いの場になっていると思いませんでした。
- ・いい経験になりました。初めて、穂井田にくるきっかけにもなりました。
- ・楽しかったし、めずらしい試み。食べ物や規模がちょうどいいと思う
- ・バスの待ち時間が長い。道がせまい
- ・もっと竹を使ったトンネルとかがあれば良かったと思ったけど、また来たい
- ・距離が少し長い(小さい子を連れていたため)
- ・お店を増やしてほしい
- ・ちょっと暗かった

6 その他ご意見・ご要望 (主なもの)

- ・あと1、2個ほどお店があればもっといいと思う。とてもよかったです。ありがとうございました。
- ・ぜひ！来年も。秋10月頃、冬クリスマスもあつたらと思います
- ・子どもの遊びを増やして欲しい。
- ・難しいとは思いますが、各展示に人を付けて頂けると良いと思いました。
- ・足元の悪いところには、人も立っていて、気を付けてくれていてよかったと思います。
- ・回数を重ねるをもっといいイベントになると思います。Fight!
- ・周遊コーススタート点に案内看板が欲しい。周遊コース中あたりが欲しいところいくつかある。
- ・ご準備大変だったと思います。来年も継続できるようお祈りしています。
- ・バスの本数をもっとあればうれしいです。ステキなイベントでした。ありがとうございました。
- ・もっとカラフルがいいです。
- ・ゴミ箱がほしい
- ・見るスポットをもう少し分散してほしい。
- ・もう少し灯りを多くして欲しい
- ・足元が悪い所があり、ちょっと歩くのが難しい所がありました。また来ます。
- ・シャトルバスを増やしてほしいです。
- ・イベントの意義が、今以上に伝わることを願っています。
- ・1つ1つ竹の上に光がついていて、きれいだった。

アンケート集計結果 2

年齢・性別と広報

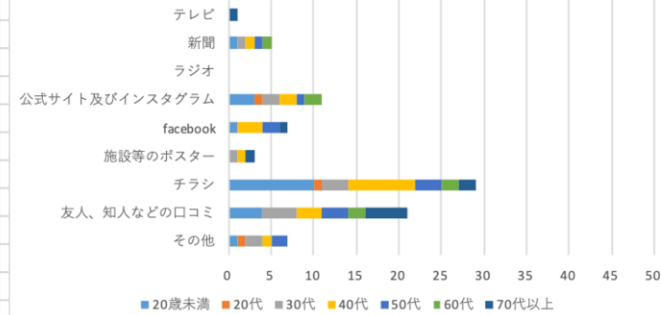
【男性】

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
テレビ	0	0	0	0	0	0	1	1
新聞	1	0	1	1	1	1	0	5
ラジオ	0	0	0	0	0	0	0	0
公式サイト及びInstagram	3	1	2	2	1	2	0	11
facebook	1	0	0	3	2	0	1	7
施設等のポスター	0	0	1	1	0	0	1	3
チラシ	10	1	3	8	3	2	2	29
友人、知人などの口コミ	4	0	4	3	3	2	5	21
その他	1	1	2	1	2	0	0	7
合計	20	3	13	19	12	7	10	84

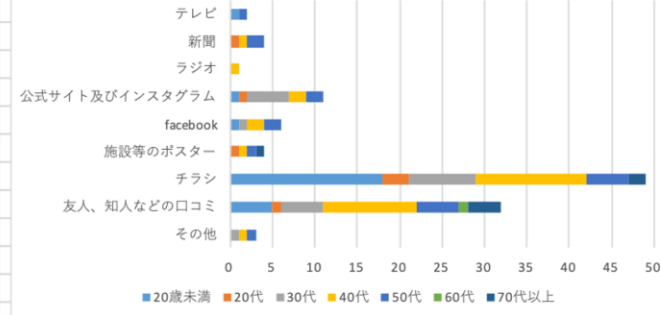
【女性】

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
テレビ	1	0	0	0	1	0	0	2
新聞	0	1	0	1	2	0	0	4
ラジオ	0	0	0	1	0	0	0	1
公式サイト及びInstagram	1	1	5	2	2	0	0	11
facebook	1	0	1	2	2	0	0	6
施設等のポスター	0	1	0	1	1	0	1	4
チラシ	18	3	8	13	5	0	2	49
友人、知人などの口コミ	5	1	5	11	5	1	4	32
その他	0	0	1	1	1	0	0	3
合計	26	7	20	32	19	1	7	112

年齢・性別と広報【男性】



年齢・性別と広報【女性】



年齢・性別と満足度

【男性】

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	1	0	0	0	0	0	0	1
2	0	0	0	0	0	0	0	0
3	3	0	0	0	0	1	0	4
4	0	0	4	4	3	1	1	13
5	15	3	7	12	6	4	7	54
合計	19	3	11	16	9	6	8	72

アンケート集計結果 3

【女性】

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	0	0	1	0	0	0	0	1
2	1	0	1	1	0	0	0	3
3	3	0	1	1	1	0	1	7
4	2	3	3	3	3	0	1	15
5	17	4	13	21	9	1	5	70
合計	23	7	19	26	13	1	7	96

